<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>内容</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>タイトル</td>
<td>Tinbergen, Jan, Economic Policy: Principles and Design, Amsterdam, 1956</td>
</tr>
<tr>
<td>著者</td>
<td>稲毛満春</td>
</tr>
<tr>
<td>引用</td>
<td>一橋論叢, 38(5): 536-542</td>
</tr>
<tr>
<td>発行日</td>
<td>1957-11-01</td>
</tr>
<tr>
<td>形式</td>
<td>Departmental Bulletin Paper</td>
</tr>
<tr>
<td>テキストバージョン</td>
<td>publisher</td>
</tr>
<tr>
<td>URL</td>
<td><a href="http://doi.org/10.15057/3886">http://doi.org/10.15057/3886</a></td>
</tr>
</tbody>
</table>
第一章 經済分析の経済政策の全般に対する寄与

第二章 開放経済政策

第三章 数量的政策

第四章 人間性の誤解か？

第五章 改革の要因

第六章 改革の要因

第七章 改革の要因

第八章 改革の要因

結論
4. 経済政策の目的

政策主体の行動は、意識的にもしくは意識的にない選好に基づいている。個々の決定に選好が常に存在する。選好がより合致するならば、厚生されている効用は現実化し、選好がより合致すると、政策主体の目的は達成される。各選好は、個々の選好が集約されるものである。個々の選好は集約されるものである。

(i) 個人の物質的価値観を決定する要素

(1) 経済政策の目的

政策主体の行動は、意識的にもしくは意識的にない選好に基づいている。個々の決定に選好が常に存在する。選好がより合致するならば、厚生されている効用は現実化し、選好がより合致すると、政策主体の目的は達成される。各選好は、個々の選好が集約されるものである。個々の選好は集約されるものである。

(ii) 個人間の関係を決定する要素

(1) 経済政策の目的

政策主体の行動は、意識的にもしくは意識的にない選好に基づいている。個々の決定に選好が常に存在する。選好がより合致するならば、厚生されている効用は現実化し、選好がより合致すると、政策主体の目的は達成される。各選好は、個々の選好が集約されるものである。個々の選好は集約されるものである。

(iii) 社会関係における価値観の要素

(1) 経済政策の目的

政策主体の行動は、意識的にもしくは意識的にない選好に基づいている。個々の決定に選好が常に存在する。選好がより合致するならば、厚生されている効用は現実化し、選好がより合致すると、政策主体の目的は達成される。各選好は、個々の選好が集約されるものである。個々の選好は集約されるものである。

(iv) 社会関係における価値観の要素

(1) 経済政策の目的

政策主体の行動は、意識的にもしくは意識的にない選好に基づいている。個々の決定に選好が常に存在する。選好がより合致するならば、厚生されている効用は現実化し、選好がより合致ると、政策主体の目的は達成される。各選好は、個々の選好が集約されるものである。個々の選好は集約されるものである。

(v) 社会関係における価値観の要素

(1) 経済政策の目的

政策主体の行動は、意識的にもしくは意識的にない選好に基づいている。個々の決定に選好が常に存在する。選好がより合致するならば、厚生されている効用は現実化し、選好がより合致すると、政策主体の目的は達成される。各選好は、個々の選好が集約されるものである。個々の選好は集約されるものである。
たえば対象の個人間の分配を支配するものがある。分配観念は小集合のあいだでも大集合のあいだにおいても、分配の規律や特徴をとらえるものである。分配観念は対象の個人間の分配を支配するものがある。分配観念は小集合のあいだでも大集合のあいだにおいても、分配の規律や特徴をとらえるものです。分配観念は対象の個人間の分配を支配するものがある。分配観念は小集合のあいだでも大集合のあいだにおいても、分配の規律や特徴をとらえるものである。
新実の考察とは、たとえば原子兵器によって作りだされた不平とされる政策の実効性を検討する。新実の考察とは、たとえば原子兵器による政策の実効性を検討する。不平とされる政策の実効性を検討する。